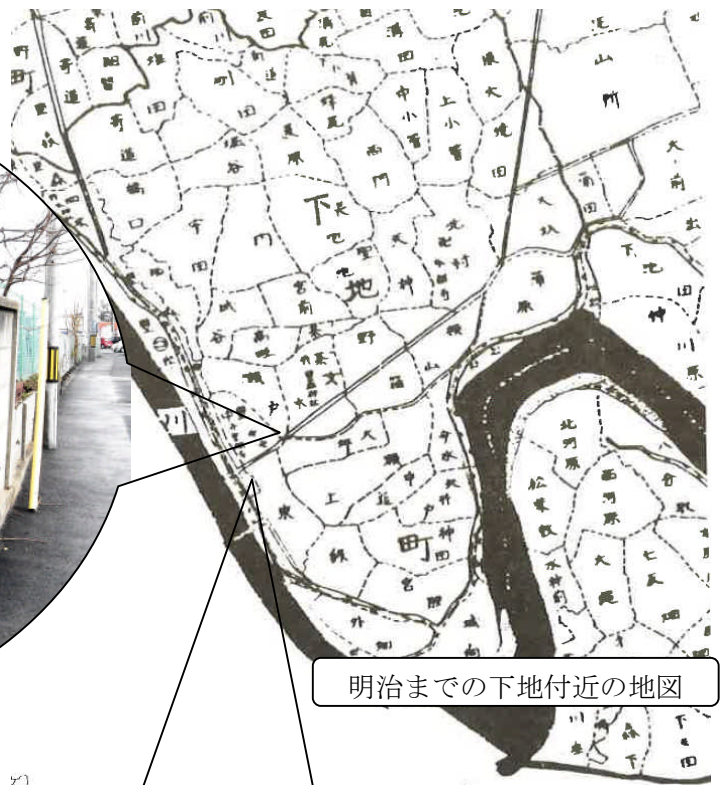


街道の分岐点 下地



三叉路にある 辻観音と道しるべ



明治までの下地付近の地図

豊橋市北部で東海道に面した下地は、古くから街道の分岐点でした。

東海道の現在の豊橋を渡り、西に進むと、道の左手に豊川稲荷の遙拝所があります。この遙拝所は、昔の下地河岸の船着き場の近くにあり、船旅をしてきて船からあがった人たちや、東海道を往来する旅人が、はるか豊川稲荷を拝んだ場所です。現在のものは近年建てなおされたものですが、灯籠型の道しるべには、「右 御油道 左 吉田道」と刻まれています。

この遙拝所から一町ほど入ったあたりを地元の人たちは、「稲荷せこ」と呼んでいます。この稲荷せこの三叉路にある辻観音には『道中安全 右鳳来寺 左新城 とよかは道』と刻まれておりこの場所がまさに昔の街道の分岐点であったことがわかります。

現在は交通の主役を国道一号線や、県道400号線にゆずった旧街道ですが、身近にある史跡に当時の人々の往来がしのべれます。



旧街道に立つ豊川稲荷遙拝所